

三笠幼稚園と神奈川歯科大学が防災協定締結

「高台をめざして！」

三笠幼稚園が津波避難訓練を実施

三笠幼稚園（横須賀市稲岡町）が大規模な地震と津波を想定した避難訓練を実施した。

参加した年長の園児40名と教職員らは、園の向かいに位置する非難場所、神奈川歯科大学附属病院の4階を目指



（▲）教職員らの誘導で避難場所へ向かう園児たち



した。園児たちが安全に避難できるように園教職員や病院の職員らが誘導。非常階段を4

階まで登るのにも園児たちは騒がず、走らずスイスイ進む。園から10分ほどで参加者全員が避難場所に到着。

「今回は年長さんだけでスムーズでしたが、実際は職員もパニックになってし

まうと思う。今後も継続して訓練を行っていきます」と話すのは、浅羽裕子園長。

海が近い三笠幼稚園では津波の際に高台に避難する必要がある。そこで昨年、三笠幼稚園と神奈川歯科大学では「災害時における防

災協定」を締結。3月に最初の避難訓練を計画していたがコロナ禍で延期となり、7月に第1回を実施した。神

奈川歯科大学副学長の防災管理者、槻木恵一教授は「今回の訓練をもとに安全対策を再度シミュレーションしていきたい」と話した。